

掲示板

戦没者・戦災死者追悼式

二度の世界大戦などで戦死されたかたや、戦災で亡くなられた1200余人のかたの御霊を慰め、また戦争を二度と繰り返さない誓いとして、貝塚市遺族会の主催で戦没者・戦災死者追悼式を行います。

なお、本年度は昨年に行き続き、規模を縮小していきます。

集します。
場所 貝塚港湾労働者福祉センター(港25)

対象 法人または個人で、募集要件を満たすもの(募集要項は貝塚市ホームページからダウンロード可)

募集要項配布期間 10月7日(金)～21日(金)

申込期間 10月24日(月)～11月1日(火)午前9時～午後5時(土・日除く)

要項配布・申込・問合せ先 貝塚港湾振興会(都市計画課内) ☎072-433-7246

日時 10月25日(火)午前10時30分

場所 忠霊塔(三ツ松)

問合せ先 福祉総務課 ☎072-433-7030

ふるさと応援寄付

8月は、1649件で、金額は2584万円でした。ありがとうございます。

問合せ先 政策推進課 ☎072-433-7050

令和3年度ふるさと応援基金 充当事業一覧表

1	教育と子育てのまち貝塚	287,452,014円
2	笑顔あふれる福祉のまち貝塚	20,925,000円
3	医療の充実に取り組むまち貝塚	80,010,010円
4	スポーツ振興のまち貝塚	8,270,000円
5	自然や環境にやさしいまち貝塚	38,911,000円
6	歴史、文化の薫りただよまち貝塚	18,796,000円
7	安全、安心のまち貝塚	15,791,000円
8	公共交通に関する事業	10,282,000円
9	市長におまかせ	187,242,499円
合計		667,679,523円

貝塚港湾労働者福祉センターの維持管理・貸館・食堂経営者を募業者募集

問合せ先 政策推進課 ☎072-433-7240

令和5年度農業大学校学生募集

農業大学校では、時代の変化に対応した技術力と判断力、応用力を身につけた農業経営者や農業技術者を養成します。


詳しくはホームページをご覧ください。

申込期間 11月14日(月)～12月5日(月)

内容 農業に関する知識習得のための講義・実習(2年制)

試験日 12月9日(金)

場所・問合せ先 府立環境農林水産総合研究所 農業大学校(羽曳野市) ☎072-979-7032

ホームページ 

シルバー人材センター 会員作品展

期間 11月12日(土)～13日(日) 午前9時～午後5時

場所 貝塚シエルピアドウアトリウム

問合せ先 (公社)貝塚市シルバー人材センター ☎072-432-3620

コンビニ交付サービスを一時停止

運用停止 10月14日(金) 午前6時30分～正午

※住民票・戸籍事項証明書・戸籍附票・印鑑証明書・課税証明書の発行および他の市町村にお住まいのかたの戸籍の利用登録申請も停止します。

運用再開 10月14日(金) 正午

問合せ先 市民課 ☎072-433-7371

平和な社会を守るために

問合せ先 学校教育課 ☎072-433-7113



市内の小・中学校では、毎年8月に「平和登校日」を実施しています。これは、戦争を知らない子どもたちが戦争の恐ろしさを知り、今ある平和や命の尊さについて、改めて考えるためです。

葛城小学校では、平和登校日を迎えるまでに、各学年で平和学習をすすめていきます。今年度、低学年では、なかまづくりにつながる取り組みを中心に、身近にある平和について考えたり、戦争に関する絵本を用いながら、今の自分にできることを考えたりしました。その中では、「友だちと意見が違ふときには、暴力で解決するのではなく話し合うことが大切」「ゆずりあう心を大事にする」など、どうすれば、みんなが安心できる教室をつくっていかせるかを一生懸命考えることができました。高学年では、社会科の学習や総合的な学習の時間を中心に、教科書や資料集、インターネットを使って調べ学習を行い、戦時中に自分たちと同じような年齢の子どもたちがどのような生活を送っていたのかについてまとめました。この活動を通して、戦争の悲惨さだけでなく、当たり前だと思っている日常生活の大切さも感じることができました。

平和登校日には、映像教材をもとに戦争の歴史や平和の尊さについて自分の考えをさらに深める学習をしました。特に6年生にとっては、2学期の修学旅行での平和学習につながる大きな一歩となります。

今年度も原爆投下3時間後に爆心地付近にある御幸橋で撮影された2枚の写真や、被爆した人々の様子が描かれた映像を見ながら、広島市の原爆による被害の状況や被爆者のかたがたの思いについて意見を交換しました。学習のふりかえりでもまとめられた感想の中には、「みんな同じ命なのに、まだ戦える人を優先に治療するなんておかしい」「これだけ多くの人がかたがたを、命を落としているのにまだ戦うのか」とい、戦争は絶対にしてはならないと思いました。「その場にいた人たちの中にも、どうしてあげることでもできず苦しい思いをした人がいることを知りました」など、さまざまな立場からの意見が出されました。



秋には平和学習の集大成でもある修学旅行が予定され、広島市の爆心地周辺の被害地を訪ねます。これから社会を創っていく子どもたちには、被爆者のかたがたや身近にいる友だち、家族の思いなど、他者のさまざまな思いにふれながら平和に対する自分の思いを深めていってほしいと思います。そして、改めて「平和な社会を守るために自分ができることは何か」について自分事として考え、仲間とともに行動する力を身につけてほしいと願っています。

広告

広告

ハロウィンジャンボ宝くじ発売

ハロウィンジャンボ宝くじの当せん金は、1等・前後賞合わせて5億円！
ハロウィンジャンボミニも同時発売！！
インターネットからも買えます！

発売期間 10月21日(金)まで
問合せ先 (公財)大阪府市町村振興協会 ☎06-6941-7441

